

地域の守り手育成型方式（試行）の結果について （令和2年度、3年度）

令和4年6月 福島県入札監理課

1 趣旨

地域の守り手育成型方式は、令和2年度に試行導入し運用を図るとともに、令和3年11月の第82回入札制度等監視委員会で検証項目を整理しました。

令和2年度、3年度入札結果の検証項目をとりまとめたので報告します。

今後、検証項目の分析・評価を行い、地域の守り手育成型方式がより良い制度となるよう検討してまいります。

2 検証項目のとりまとめ

検証項目	要素	視点など
1. 認定業者数	・ 認定状況	管内・工種毎に認定企業が確保されているか

<表1>

・認定企業数が内申に必要な概ね12者に満たないため、地域の守り手育成型方式を運用できない管内がある。

（建築工事：2管内、電気設備工事：5管内、暖冷房衛生設備工事：5管内）

・それらの管内は、有資格業者名簿の登録数も少なく、認定業者の大幅な増加は期待できない。
・地域の守り手育成型方式を運用していくためには、内申に必要な企業数（概ね12者）に満たない管内の取扱いの検討が必要である。

2. 指名状況	・ 指名回数	指名業者に偏りが生じていないか 【公正性・透明性の視点】
---------	--------	---------------------------------

<表8>

・平均の指名回数は9.8回（最大：南会津56.9回、最小：県北3.7回）

・指名されなかった企業は86者（17.2%）

・内申に必要な企業数（概ね12者）が確保されず地域の守り手育成型方式が運用できない管内があるため、指名されない企業が出てくる。

3. 固定化解消	・ 契約状況 ・ 受注回数	受注業者に偏りは生じていないか
----------	------------------	-----------------

<表9>

・工事を受注した企業は173者、認定企業者500者であり、割合は34.6%。

・受注者173者のうち、1回受注した企業は89者、2回受注した企業は46者で、1回又は2回受注した企業の割合は全体の78.1%。

・5回以上受注した企業が12者（6.9%）で、南会津管内に集中している。

<p>4. 競争性の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率 ・応札した業者の割合 ・入札参加者数 ・入札辞退理由の把握 	<p>入札参加者数による適正な競争は確保できているか</p>
------------------	---	--------------------------------

<表5>

- ・落札率が平均よりも高い管内：県北、県南、南会津、相双、いわき
- 落札率が平均よりも低い管内：県中、会津若松、喜多方

<表6>

- ・応札した業者の割合が平均よりも高い管内：県中、県南、会津若松、喜多方
- 応札した業者の割合が平均よりも低い管内：県北、南会津、相双、いわき

<表7>

- ・入札参加者数が9者以上である工事は159件、全体の43.4%を占めている。一方、参加者数が2者の工事は27件、全体の7.4%である。

<表11>

- ・辞退理由は、配置技術者を確保できなかった(23.2%)、別に受注したい工事があつたため技術者等を確保できない(18.5%)、手持ち工事量が多い(18.2%)、現場状況の問題(14.4%)の回答が出されている。

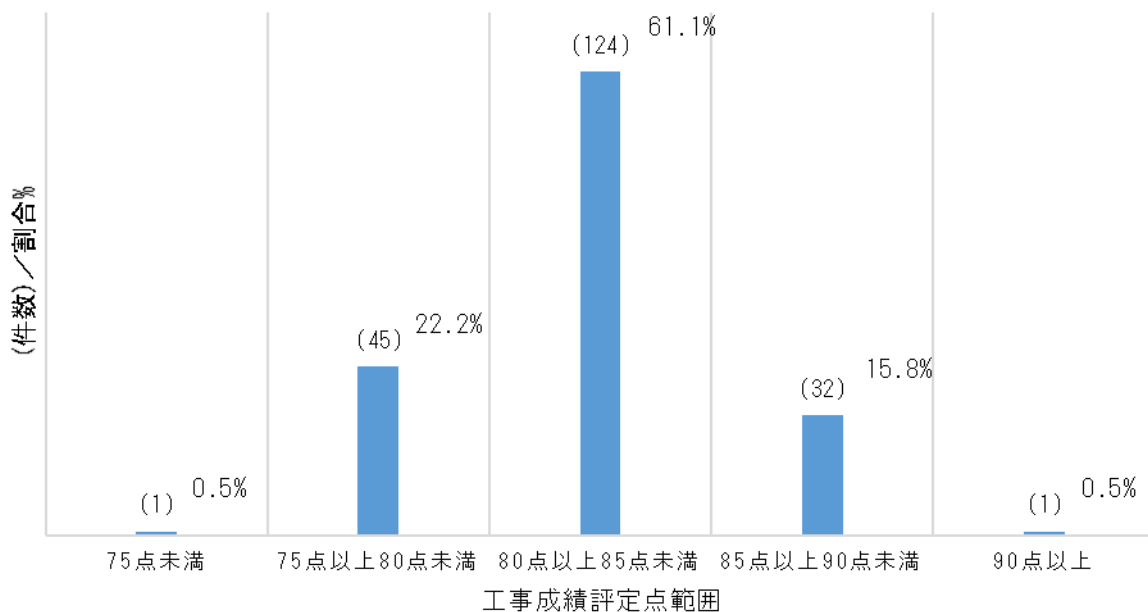
<p>5. 品質の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受注者の格付等級 ・工事成績評価 	<p>工事成績評定点の確認、比較</p>
-----------------	--	----------------------

<表3>

- ・受注者の格付等級は、Aランクの企業が80.6%、Bランクの企業が12.6%、Cランクの企業が5.7%、Dランクの企業が1.1%の工事を受注している。

<表10>

- ・工事の平均点は81.7点(最高点：90点 最低点：74点)



6. 担い手企業の育成	・ 担い手企業の受注状況	担い手企業は育成されているか
<p><表4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同一市町村（施工箇所と同じ市町村に所在）の企業が受注した割合は、全体の78.7%。 		
その他	・ 不調率	
<p><表2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不調件数については令和2年度が27件、令和3年度が6件で、大きく改善している。また、不調率は8.3%で、条件付一般競争入札(16.4%)に比べて少ない結果となっている。 		

3 今後の予定

- ・ 条件付一般競争入札との比較による検証項目の分析・評価を行います。
- ・ 地域の守り手育成型方式についてアンケートを行います。
対象者：認定企業、入札執行権者、工事執行権者
内容：運用していく上での課題についてのアンケート
- ・ 現時点で把握している課題
 - (1) 指名内申に必要な企業数
 - (2) 指名選考の方法
- ・ 次回の入札制度等監視委員会において、検証項目の分析・評価、アンケート結果による課題をとりまとめ、対応方針の検討を行いたい。